



豊正FAM協議会 ふれあい室

【岩見沢市】

はじめは？

豊正FAM協議会は、平成22年(2010年)、地域の活性化に向けた組織として岩見沢市北村豊正地域全54戸の内、35戸が会員となり設立されました。FAMは、Future Agriculture Make(未来の農業を作る)という頭文字をとったもので、この組織活動を通して地域の若い世代を育て、地域の活性化につなげたいという思いが込められています。

同協議会の中の組織であるふれあい室では、消費者との交流、イベントの開催、農産物の付加価値対策、販売の拡大を目的として活動しています。



消費者の皆さんようこそ畑へ

おもな活動



落花生オーナー初めての収穫体験

落花生を地域の特産品化する取り組みとして、「落花生まつり」の開催や「落花生のオーナー制」、「塩ゆで落花生」の製品化、さらに、「落花生レシピ集」を作成して販売する活動等を行っています。

こうした落花生を通じた交流の取り組みとして開催する「落花生まつり」やフットパス等のイベントでは、消費者に地域の魅力を伝え、また、消費者と生産者がともに楽しんで交流することを目的に活動しています。

平成25年(2013年)に始めた落花生のオーナー制は、1年目は3戸の生産者が10組の消費者を、2年目は11戸の生産者が30組の消費者を受け入れ、落花生生産に関する理解も深まり、徐々に拡がりつつあります。

ここが自慢

【イベントで地域の魅力を発信】

市内の消費者の他、札幌からの消費者や地元の飲食店経営者、加工品製造販売者、行政関係者等様々な異業種が参加するフットパスや落花生まつり等のイベントを実施することで、地域の農業の魅力を発信しています。イベントでは、農産物が栽培されている畑を直接見てもらい、生産者と直接話をすることで、イベント参加者がリピーターとして直売所を再訪問してくれるという、直売所とイベント交流の良い循環が出来ています。

また、これまで親の世代が中心となっていた地域の活動でしたが、協議会の活動を通して、地域の若い世代の人達が情報発信や地域活動、協働の大切さを考えるようになりました。



フットパスで麦畑を歩こうっ

データ

■代表者:小西泰子さん／設立:2010年／会員:35名

■連絡先:岩見沢市北村豊正1044番地

■電話:0126-55-3034

■FAX:0126-55-3034